



伝統活かした和装ライフを新提案 桐生ブランドを全国に発信

きりはた

今年、1300年という長い歴史の節目を迎えた織都桐生。絹織物の伝統的かつ高度な技術が古くから脈々と継承されてきた都市であるが、生活様式の変化などから繊維産業全体は厳しい状況が続き、着物は日常生活からは遠く離れた「憧れ」の対象となっている。

業界にとって逆風の中、平成16年に「本物を作り続け、全国に通用するブランドにしよう」という志の下、市内業者で立ち上げたのが桐生ブランド「きりはた」である。伝統的工芸品「桐生織」を製造する後藤織物、泉織物、高光織物工場、井清織物の4社が参加し、これまで育んだ技術と各社の強みを活かし、消費者ニーズや明確なコンセプトに基づいた新製品開発と和装のトータルコーディネート提案するブランドとして展開している。

また、積極的に広報・PR活動を展開しており、東京銀座のぐんま総合情報センター(ぐんまちゃん家)で毎年新作発表会を開催している。今年も11月12日から16日の4日間「きれいめ おしゃれ 正統派」をテーマに発表会を開き、大手バイヤーや着物ファンら多くの来場者が新作を一目見ようと会場に詰めかけた。そうした消費者との交流を通じて吸収した意見や要望はその後の開発に活かされ、的確にニーズをとらえた商品づくりは銀座の松屋など大手百貨店にタイアップされるなど、活動開始以来着実に実績を積み重ねている。新作では伝統を守る正統派でありながら、ハーブやフルーツなど親しみやすいカジュアルなデザインや流行を取り入れ、これまで着物に縁の無かった世代にも新たなファッションとして提案。「『高価』、『難しい』といった着物の固定観念を少しでも無くし、ハードルを下げていきたい」と「きりはた」を主催する若手経営者たちは口をそろえて言う。

「モノづくりのまち桐生」の礎を築いてきた桐生の繊維産業。「きりはた」は、伝統と高い技術力に今日のニーズや流行を融合させた新しい和装のライフスタイルの提案を通じて、桐生の実力を全国に発信している。

- 合資会社後藤 住所／桐生市東一丁目11-35 電話／0277-45-2406
- 泉織物有限会社 住所／桐生市東五丁目5-16 電話／0277-45-2449
- 有限会社高光織物工場 住所／桐生市境野町七丁目97 電話／0277-44-5165
- 有限会社井清織物 住所／桐生市境野町六丁目344 電話／0277-44-3568

